



臨機応変な対応、ありがとうございました

9月14日（木）。

6時30分に大雨洪水警報、7時4分には土砂災害警戒情報が発表されました。また、8時45分には土砂災害警戒情報が解除され、10時33分には大雨洪水警報も解除されました。早朝から通勤している私としては、あの雷の光と音の中、恐怖を感じながらの登校となりました。

4回、ご家庭にメールを発出させていただきました。基本的には以前、お知らせしていたおりの対応となりました。確認をしておきます。

- ① 朝6時まで、警戒情報（レベル4以上）が出ている場合は、自宅待機
- ② 朝10時まで、警戒情報が解除になった場合はその時点からの登校
- ③ 朝10時まで、解除にならなかった場合には、その日は休校

ただ、今回は8時45分に解除された後の登校ではなく、校内の連絡調整のために10時30分までの登校、3校時（10：45）からの授業とさせていただきます。ご理解ください。

今後も台風・大雨・雪などの荒天があるかも知れませんが、その折は、今回のように学校からのメール、学校ホームページで連絡いたします。

2年生：身近な中国を探す旅 まとめ

前号（学校だより27号）で、2年生の「身近な中国を探す旅」の1日研修については書きました。9月13日（水）、その報告のために中華人民共和国駐長崎総領事館を2年生全員で訪問しました。なかなか簡単には入れない、日本の国内法が適用されない場所であり、個人的には少し緊張しながらの入館となりました。しかし、張大興総領事さんの屈託のない笑顔

でのお迎えに、安心しましたし、さまざまな配慮をしていた



だき、たいへん有意義な訪問となりました。

まず、最初に施設のご紹介をいただき、特別室も見せていただきました。次に1日研修で学習したこと（梅屋庄吉、中華街、孔子廟・変面ショー、唐人屋敷跡）を代表して4グループが発表してくれました。その後、今度は張大興総領事さんが日中の交流、特に長崎の人がどれだけ日中交流に尽力してきたかを、パワーポイントを使って紹介していただきました。久保勘一元知事の話が出た時には懐かしくもあり、またどれだけの人の記憶にあるのかなと感じたところでした。すごく勉強になりました。

休憩をはさんで、これまでの学習や総領事さんの話から20題のクイズが三択で出題され、正解者には直接、総領事さんからプレゼントをいただきました（後で全員にプレゼントとお土産がありました）。

- そして、総領事さんへの質問タイム。
- 「Q：普段は何を食べていますか？」
→「A：料理人さんが中華料理を作ってくれてそれを食べている」
- 「Q：長崎で好きな食べ物は？」
→「A：カステラ、ちゃんぽん、角煮、茶碗むし」
- 「Q：外交官として印象に残っている国や印象に残っている出来事は？」
→「7か国を回った。その国にはそれぞれおもしろく、深い思い出がある。その国を離れても、その国のことを思い出す。長崎のことや皆さんのことも思い出すと思います。」

今、日中関係は微妙な問題も抱えていますが、総領事さんは生徒の質問に真摯にお答えいただきました。生徒には次のようなことも伝えられました。
「視野を広く持ってほしい、長崎と中国は昔からの交流がある。海外に興味をもってほしい。」
全校生徒にも、是非、心してほしい言葉だと感じました。本当によい経験となりました。

